

〒145-0031 東京都品川区西五反田3-2-13  
目黒さつきビル3階

Tel. 03-6303-9134 FAX 5487-7844  
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東海労働組合

発行人 小林 光昭  
編集人 高山 浩

2017年  
3月1日  
第383号

# JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

## 2017 J R 総連春闘勝利！安全軽視の効率化反対！

### 第30回定期中央委員会開催



J R 東海労は2月11日、名古屋市の「ワークライププラザ」で第30回定期中央委員会を開催しました。委員会には、中央委員、来賓、傍聴者など約100名が参加しました。

委員会は、山本副委員長の開会挨拶で始め、議長団に佐藤（新幹線地本）、上田（新幹線関西本）両中央委員を選出しました。小林委員長は挨拶で、2017 J R 総連春闘における賃金引き上げの闘いを中心とした課題について提起しました。

来賓として、J R 総連高木副委員長、楠関ヶ原町議会議員、福島OB会長、鉄道フアミリー加藤営業担当部長より挨拶を受けました。

第24回参議院選挙は、組織内議員「たしろかおる」の再選を目指して闘い抜きました。組合員・ご家族・OBの皆さんには、本当に奮闘して頂き改めて感謝を申し上げます。しかし結果は、あと一歩およばず、悔しい結果となってしまいました。闘いを総括していく必要があります。

J R 総連定期中央委員会で、安倍政権に反対する勢力をつくり上げるために、野党4党共闘を目指すという認識に立つことが確認されました。私たちは下から、しっかりと声をつくり上げようと考えています。

昨年8月11日、結成25年を迎え9月には大集会を開催しました。結成以来、弾圧・組織破壊に抗して闘い抜いた苦闘をお



### 職場から春の闘いを構築しよう！

#### 小林中央執行委員長挨拶

実践の報告や、新幹線車の削減や駅の無人化、休日指定予定日の廃止などの効率化、理不尽な施策には職場から闘う決意が述べられました。

質疑の後、来賓のJ R 総連永島政治部長より感想をいただきました。木下書記長は総括答弁で、春の闘いを職場からつくり上げていくことを訴えました。

活動方針(案)を採択後、本橋副委員長の閉会挨拶、小林委員長の団結ガンパローで、委員会は成功裡に終了しました。

互いに確認し、J R 東海労の未来を切り拓くことを誓い合いました。私たちは、しっかりと職場から声を上げ、当たり前の労働組合活動を展開してきたことに自信と確信を持ち、仲間を拡大していくことにはありませぬか。今年、J R 総連結成30年、J R 発足30年の節目の年です。国鉄改革の精神を改めて確認し、全国のJ R 総連に結集する仲間たちと共に奮闘していきます。

会社は経営協議会で、経営理念改定を明らかにしました。今まさに、国鉄改革のスキームが崩れ、J R 北海道の経営問題、鉄道貨物輸送の展望という課題が、J R 発足30年という節目の年の中に掛かっている状況の中で、会社は果たすべき役割として、「日本の大動脈と社会的基盤の発展」を強く打ち出しました。リニア中央新幹線建設のために「財政投融资3兆円ありがたくちようだいします」という姿勢・対応で良いのでしょうか。鉄道ネットワークの発展、公共交通としての観点、価値観こそが問われるのではないのでしょうか。血と汗と涙で闘い、なし得た国鉄改革の歴史をしつかりと引き継ぐべきではないのかと思っております。

これは、2012年10月示された「更なる効率化かつ筋肉質な業務運営体制の構築」という中期計画の具体的な施策と見ることができません。これまでも、新幹線車両所などにおいて大幅な効率化を推し進めています。新幹線車両・パーサーの基準乗り組み数の変更を伴う施策、東海道本線の駅無人化という施策は、一つの区切り、一定段階の仕上げともいえるべき大きな効率化攻撃であると捉え、闘いを構築していく必要があります。

基準乗り組み数の変更は、まさに「基準」の変更であり団体交渉事案です。にもかかわらず、地方での説明というのは、労使協議の形骸化であり、労働協約に反する対応です。このようなデータラメな対応を認めるわけにはいきませぬ。実施の1年以上前の説明提案は、J R 東海ユニオン指導部と会社の出来レースによってガス抜きをしつつ、会社の思惑通りにことを推し進めるために画策されていると見るべきではないでしょうか。

また、「休日指定予定日の公表廃止」「休日出勤」「年休問題」など、要員不足の問題や職場に山積する理不尽な事柄にしっかりと立ち向かい、攻撃の内容、会社の思惑を明らかにし、職場から

【2面につづく】



議長団の佐藤 上田両中央委員

【1面よりつづく】  
闘いを構築していこうでは  
ありませんか。

今年については、新人事  
・賃金制度により、定期  
昇給が400円しか上が  
らない組合員が発生しま  
す。日々、昼夜を問わず、  
安全・安定輸送のために  
貢献し努力している社員  
の努力に、大きい小さい  
はありません。鉄道輸送  
は、それぞれの部署、担  
当が連携して初めて成し  
遂げられます。評価・能  
力主義を組み入れた、人  
事・賃金制度は鉄道業に  
はなじみません。10年経  
って格差は大幅に広が  
りました。僅かばかりのベ  
アについても、「格差ベ  
ア」が実施され、さらに  
格差が増大しています。

今春闘でJR東海労組  
は、格差ベアに終止符を  
打つ闘いを、スト権確立  
を背景に闘っています。  
今年度のベアについて  
は、「定額ベア」で実施  
することを確認していま  
す。私たちが、連帯した

闘いをしつかり構築し、  
大幅賃上げ、定期昇給額  
の通減撤廃など人事・賃  
金制度の改善、労働条件  
・職場環境改善の闘いを  
職場から闘い抜こうでは  
ありませんか。併せて登  
壇を、JR総連の仲間た  
ちと共に精一杯闘いまし  
よう。

## 2017 JR総連春闘を 連帯して闘おう！

### ご来賓からの連帯挨拶



JR総連高木副委員長

来年度は格差ベアではな  
く定額ベアを実施する  
という大きな成果を勝ち  
取りました。しかし、闘  
いはまだ継続しています。  
JR総連は、連帯して闘  
いを構築していきます。

JR総連は定期中央委  
員会で、2017 JR総  
連春闘を統一要求・統一  
闘争として闘うことを決  
定しました。昨年3月末、  
内部留保は過去最大にな  
りました。安倍第2次政  
権がスタートした201  
2年から34%増加してい  
ます。企業は莫大な利益  
を上げていますが、実質  
賃金は変わらないのが現  
実です。JR総連は連合  
方針に則り、賃上げ闘争  
を闘います。

JR東海労組は、「格差  
ベア」に終止符を打つた  
ために、闘う体制を確立し  
ました。その闘いの結果、

200kmが上下分離やバ  
ス転換となる恐れがあり  
ます。原因は改革当時の  
運用利回りが7.3%だ  
ったものが、超低金利の  
中で運用益による赤字の  
補てんがでなくなつて  
しまったことにありま  
す。JR北海道労組は、  
崩れた国鉄改革のスキ  
ームの是正を国に求め、各  
自治体への要請行動を  
実施し、組合員は一人5枚  
のチラシを、親戚・知人  
などに配布し現状を訴え  
ています。雇用不安のな  
い働きがいのあるJRを  
目指してきましたが、J  
R北海道では再び雇用の  
危機に直面しています。

また、他のJRにおいて  
も営利・運行優先の企業  
体質へと変質し、国鉄改  
革の精神を蔑ろにする経  
営姿勢が見られていま  
す。JR総連は、JR北  
海道労組と連携し、30年  
の検証をしつかり行っ  
ていきます。

今年度の定期大会は、結  
成30年の記念大会として  
開催します。制度政策検  
証委員会を開催し、国鉄  
改革で目指したものは何  
だったのか、それがどう  
なっているのか、今後ど  
うすべきなのかを明確に  
しつづ、政策として打ち  
出していきます。

「たしろかおる」再選  
の闘いは残念な結果とな  
りました。担っていただ  
いた組合員・OBの皆さ  
んにあらためて感謝申し  
上げます。しつかり総括

をしながら、次の闘いに  
向かっていきたいと思  
います。総括の先に参院選  
の展望が見えてくると思  
います。

参議院選挙の前には、  
衆議院選挙などが実施さ  
れる予定となつていま  
す。安倍政権の暴走を許  
さないために、推薦候補  
の当選に向け闘ってい  
ます。



楠関ケ原町議会議員

前からネクタイ着用の廃  
止を要求し、職場で闘  
い、職場での共感をつくり、  
社会的に広まってきた結  
果だと思えます。多くの  
労働組合が労使協調で取  
り組みができない中、J  
R東海労が歩んできた25  
年、JR総連の30年とい  
うことは、非常に大きな  
意味を持つものです。今  
こそ、松崎明さんの想  
いながら、JR東海労・J  
R総連運動を進めてい  
たいと思います。



OB会福島会長

昨年の総会で会長に就  
任しました。よろしくお  
願いします。

今年度は国鉄改革30年と  
言われました。30年とい  
う長さというものを感じ  
ないわけにはいきませ  
ん。昭和20年の敗戦を起  
点とすれば、30年後の1  
975年はスト権ストで  
8日間のストを行った  
年、そういう時間が経過  
したということ。労働  
運動は、この1975  
年を頂点にして衰退して  
いきました。JRの30年  
というのは、労働運動が  
なくなつた中で、職場と  
仕事と生活を守る闘いで

あつたと思えます。国鉄  
改革は、私たちにとつて  
昨日のように感じます。

一方、国鉄改革は遠い  
昔のこととして、上意下  
達、差別と格差と強権が  
職場を支配しています。  
昨年9月、結成25年大集  
会が開催されました。あ  
らためて私たちは、悪徳  
経営陣を告発し、糾弾し  
た集会だと思えます。



鉄道ファミリー  
加藤営業担当部長

現在、新規加入者と退  
職者との比率が低下し、  
厳しい状況になってい  
るのが課題です。各自レ  
ベルアップを努力してい  
ます。

人事・賃金制度が導入  
される中、労働組合がど  
うしていくのかというこ  
とにおいて、JR各単組  
と鉄道ファミリーは一心  
同体です。春の闘い  
を共に闘っていかなく  
ばならないと思えます。  
ご指導お願いします。

# リニア建設のための要員削減・労働強化を許さない！ 13名の中央委員から職場からの闘いを発言

◆2017JR総連春闘を職場から闘う。努力しても昇格しない。職場では不満が渦巻いている。新人事・賃金制度の矛盾点を明らかにして闘う。

◆今春闘で関連会社に団体交渉開催の申し入れを行い、関連会社の労働者にビラを配布する。

◆新幹線車掌の乗り組み基準が「提案」された。リニア建設のための効率化である。こだまのパーク1名乗務は、偽装請負になるのではないか。

◆JR東海ユニオンは、新幹線車掌の乗り組み基準の「提案」がされて、翌日33項目の申し入れを行った。組合員と議論なしの翌日の申し入れである。東京、大阪の両地本の会社との協議内容は、同じ文言が多い。すでに効率化を認め条件闘争になっている。



◆新幹線車掌の削減は非常に問題だ。合同職場集会などを開催し議論した。絶対に反対である。討議資料を作成した。

◆リニアの問題において、会社のチェック機能が高める。

◆昨年末、ボーナスカット者のゼロは闘った大成果である。

◆揭示物行政訴訟で、裁判所から苦情処理会議の歴史・背景・運用などを調べてほしいと言われ、資料を集めた。苦情処理会議制度は、米国が発祥。産業別労働組合が行う団体交渉に対し、個別の企業において苦情処理会議制度ができたと言われる。公共性のある国鉄がそれを取り入れ、現在のJRに引き継がれている。従って、苦情処理会議制度は団体交渉と同一のものであり、議事録が公開されるべきものである。JR東海では、団体交渉と同列に扱うべき苦情処理会議制度を形骸化している。各地本の協力によりその実態を暴露することができた。3月9日判決を迎える。

◆加藤誠二さんの解雇から10年経過した。主任レポート反対の闘いに対する弾圧であった。10年間の闘いの過程で、松山さ

んが加入した。今では地本業務委員を担っている。

◆新しい経営理念は、国鉄改革を否定し「全てはリニアのため」とするものである。

◆のぞみ31A・ギアケース破損事故は重大な事故であり、原因究明をしなければならぬ。わずか1時間の点検で、無理やり運転を再開させた。交番検査周期延伸の提案の延期と関係しているのではないだろうか。

◆東海道本線・駅無人化の問題で、既に実施された武豊線を視察に行つた。乗客が精算で戸惑っていた。そこに人間の欠片すらないと実感した。一方で会社は、目の不自由なお客様への対応方について一斉に出した。「業務をほっといてもやれ」という指示。本末転倒。老人は「ホームは欄干のない橋」と言っている。要員を増やすべき。

◆Cパップ(睡眠時無呼吸症候群)の治療費を会社は補助すべき。

◆取得した年休に対する診断書提出強要について申し入れを行ってもらったが、会社は団体交渉を拒否した。年休を欠勤と解釈する会社、団体交渉

拒否は非常に問題。引き続き闘っていく。

◆ボーナスカット本人訴訟の闘いでいよいよ判決を迎える。職場から、情宣活動などを通じて全組合員で闘ってきた。

◆昨年度、年休を流した。原因は、日勤教育、業研、

出張など。鉄事に要員問題で追及した。苦情申告などの闘いで今は入るようになった。

◆主任職への昇格はB年限がない。10回以上も合格しない組合員がいる。今度、定期昇給が400円の組合員が出る。職場

で運動をつくっていく。

◆休日指定予定日廃止は労基法違反。この問題を通じて、休日とは、休暇とは何かを考える必要がある。

◆今年で中国平和研修は20年目となる。多くの参加をお願いしたい。

## JR総連の仲間と連帯して闘おう！ 木下書記長総括答弁



2017JR総連春闘では、格差ベア反対を掲げて闘います。これを容認することは、差別を許すことです。会社は、ベア額に等級間格差をつけることに「新人事・賃金制度の趣旨に基づいている」と言っています。「努力した者」とは昇格試験に合格した者です。試験には合格枠があります。会社からの評価も加わりません。競争になります。努力は昇格時の昇格額で報われる形になっています。今年から定昇額が400円しかない組合員が発生します。定昇の通減を許さない闘いを強化します。

JR東海組は、格差ベアに終止符を打つための

議論を職場からつくってきました。格差ベアを許したら、組合員同士で競争し、それが職場を荒廃させ、チームワークが必ずやない安全を脅かすことを、具体的事実を基に、議論してきました。

JR東海組の闘いに連帯することを意識するとうことですが、JR東海ユニオンの若い組合員に、社員間で争っては駄目なんだ、賃金は団結して会社に向かって勝ち取るものなんだ、ということとを気付いてもらわなければ活動していかなくてはなりません。

昨年12月、2つの効率化事業が会社から明らかにされました。新幹線車掌の人員削減と、在来線主要本線の駅無人化です。これは単に車掌や駅の問題ではありません。車内で体の不自由な乗客を不安全な状態に長時間さらすことが予想されます。停電や地震などの異

常時に車掌2人で乗客の不安除去と車内秩序維持ができるはずがありません。駅の無人化は、人によるサービスがなくなるということですが、利用者の安全問題でもありません。特に視力に障害のある利用者にとっては深刻な問題です。この2つの効率化施策だけでなく、他系統でも新たな効率化が準備されていることは間違いありません。組織の縦系たる地本・分会、横系の分科会の連携で、安全確立の闘いを広範かつ創造的につくり上げていきます。

国鉄改革30年、いろいろなことが変わりました。会社は2月7日、経営理念の内容を組合に提示しました。柘植社長は「国鉄の反省に立ってつくりだされている。将来に向けた行動規範が必要だ」と経営理念を変える理由をマスコミに説明しています。時代が流れようと、国鉄の人が変わろうと、国鉄の

反省を忘れずに、地域の足、鉄道のネットワークを守るJRの使命を果たさなければなりません。経営理念の改定は、国鉄改革を否定し全てはリニアに集中して「稼ぐ」ことを最優先することを宣言したと言わざるを得ません。

国鉄改革から30年、JR各社の経営状況や課題が違ってきています。しかし、それぞれの課題を全単組で考え、JR総連の組織拡大の課題を入れて共に闘うのがJR総連の運動だと思えます。国鉄改革の精神を否定する勢力、動きには、JR総連と共に闘っていきま

安倍政権の暴走を止め、暮らしにゆとりを取り戻すために私たちは、職場のJR東海ユニオン組合員に、安倍政権の政策は労働者のためになっていないということを感じてもらえるよう活動していかねばなりません。

また、リニア中央新幹線建設を止めるために、未解決の問題を明らかにし、会社と一心同体で建設を進めるJR東海ユニオン指導部の犯罪性を暴き出していくために、職場で活動していかねばなりません。

闘いは職場が基本です。本部は、職場からの創造的な闘いを一杯バツクアップをします。

# 春の闘いを職場から構築する！

## 4地本定期委員会が成功裡に終了！

各地本は、定期地本委員会をそれぞれ開催しました。各地本委員長は、第30回定期中央委員会で確認された2017JR総連春闘を中心とした活動方針、地方における独自の課題を含めて提起しました。各地本とも活発な質疑が行われ、春の闘いを意思統一しました。

### 新幹線地本

新幹線地本は2月26日、大崎第一区民集会所で第22回定期委員会を開催しました。

### 静岡地本

質疑では「新幹線車掌の削減が提案された。安全上の問題、偽装請負の問題がある。リニア建設のための効率化である。反対の闘いをつくる」「休日指定予定日の公表廃止を許さない闘いをつくる」「年休取得に対する診断書提出の強要は問題。会社を迫っていく」「関連会社の労働条件改善を求め、今春闘で申し入れやビラ配布行動を展開した」

### 名古屋地本

名古屋地本は2月24日、牧野コミュニティセンターで第27回定期委員会を開催しました。質疑では「東海道本線の駅無人化は、乗客の安全・サービスを否定するもの。乗務員や地の駅員への負担にもなる。反対の闘いをつくる」「年休が入らず失効する社員が

### 新幹線関西地本

新幹線関西地本は2月19日、吹田勤労者会館で第22回定期委員会を開催しました。質疑では「ボーナス

### リニア沿線住民からの投稿

### 「アメリカでリニア建設を」

### 安倍首相が日米首脳会談後の共同会見で表明

安倍首相とアメリカのトランプ大統領は10日の首脳会談後、ホワイトハウスで共同会見を行った。会見の冒頭発言で安倍首相は、アメリカのインフラ整備への投資に關して次のように述べた。



「昇格試験でJR東海労働審判から始まり、本人訴訟の闘いへと展開された。職場で、管理者の密告(非違行為)を暴露し、他労組に訴えてきた。その結果、昨年の期末手当ではカット者ゼロになった。闘いに勝利したことを確認しよう」「新幹線車掌の削減は安全上問題がある。跳ね返す闘いをつくる」「休日指定予定日の公表廃止は労基法違反。年休抑制の攻撃であり、反対の闘いをつくる」などの意見が出されました。

「トランプ大統領のリーダーシップによって、今後、高速鉄道など大規模なインフラ投資が進められるでしょう。日本の新幹線を一度でも体験した方がいれば、そのスピード、快適性安全性はご理解いただけると思います。最新のリニア技術ならここワシントンからトランプタワーのあるニューヨークに、たった一時

間では結ばれません。日本はこうした高い技術力で大統領の成長戦略に貢献できる。そして米国に新しい雇用を生み出すことができます。『朝日新聞』

の先行開業のためリニア技術の無償供与を表明した。安倍政権もこれに呼応して同区間の建設費1兆円の半額5千億円を、国際協力銀行を通して融資すると表明した。

**笑えない標語**  
 戦時中の標語  
**「すべてを戦争へ」**  
 (『朝日新聞』昭和17年1月27日掲載)  
 経営理念の隠れ標語!?  
**「すべてをリニアへ」**

**お詫びと訂正**  
 本紙382号1面3段で、虫生時彦氏は虫生時彦氏の間違いでした。お詫びして訂正します。

アメリカのインフラ整備を中心に51兆円を投資し、70万人の雇用を創出することをアメリカ側に伝えた。これまでも外遊の度にお金をばらまいてきた(安倍政権下で40兆円とも言われる)が、今回、51兆円も投じることが日本国民にとって新たな負担になり、また将来世代に大きな負債になる恐れが強い。昨年決まったJR東海への3兆円融資同様、日本政府は「融

国民無視、政民癒着のリニア事業の見直しを!  
 国民に理解が得られない、JR東海という一企業と癒着したリニア新幹線の売り込みは止めるべきである。

